

東大和

平成20年(2008年)
1月1日



市議会 だより

217

発行：東大和市議会
編集：議会報編集委員会
〒207-8585 東大和市中心3-930
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926
E-mail: gikai@city.higashiyamato.lg.jp

謹賀 新年

平成20年



「地域の和」 撮影：山田安子さん（桜が丘在住）

二大下	御殿	中尾	関田	関田	蜂須賀	押本	小林	関野	森田	粕谷	中瀬	長瀬	粕谷	尾崎	西川	吉野	議員(議席順)	石川	副議長	佐村	議長
宮后	条谷	間崎	田田	田田	賀千	本知	林杜	野憲	田憲	谷洋	村庄	瀬り	谷久	崎利	川洋	野孝		庄太郎		明美	
由治	一彦	建二	信夫	正民	貢雅	千修	知久	杜成	憲二	洋右	庄郎	りつ	久美	利一	洋一	孝					
子雄	学彦	彦二	夫二	民夫	貢雅	千修	知久	杜成	憲二	洋右	庄郎	りつ	久美	利一	洋一	孝					

新春を迎えて 今年の抱負

(各党派内の写真は上から)
議席順に掲載しています。



公明党

公明党は「大衆とともに」との 原点から出発します

晴れやかな二〇〇八年の新春を心よりお慶び申し上げます。
昨年4月の改選を受けて、私も公明党は、引き続き市議会第一党の議席を確保することができました。市民の皆様とお約束をした政策、公約をひとつでも多く実現するために、本年も全力で議会議事に挑戦してまいります。
市議会は、市民生活において最も身近な政治の現場であり、私

も議員も常に市民の身近な存在でなければならぬと深く自覚をしております。

公明党は、「庶民大衆」に支えられている政党です。そして、どこまでも「庶民大衆の側に立つ」ことを立党精神としております。市民の皆様からお寄せいただいたお一人一人のご意見・ご要望に対して、どこまでもお応えできるか、公明党らしく真面目に誠実に真剣



尾崎 信夫



佐村 明美



御殿谷 一彦



中間 健二



下条 真治

に働いてまいります。
いよいよ我が国は、かつて経験したことのない、本格的な人口減少社会に入りました。今後、さらに少子高齢化が進んでいく時代においては、市政運営のあり方も時代の変化に合わせて、大きく変革していく必要があります。
市財政は厳しい状況ではありますが、第3次行政改革大綱推進計画に沿って、民間活力の導入を図

り、職員の資質の向上に取り組みなど、一層の行政運営の効率化を推進する必要があります。
公明党は、以下の六項目の重点政策を掲げて、市政のさらなる改革に全力で取り組んでまいります。
一、行政のスリム化と効率性の健全な行政運営をめざします
二、行政情報の積極的公開(市政情報センターの開設) ◆行政改革のさらなる推進と職員定数の削減

◆事務事業評価の本格導入と予算編成における反映システムの構築
二、暮らしと健康を守る
福祉の充実を推進します
◆総合福祉センターの建設 ◆介護予防事業の充実 ◆子ども家庭支援センター事業など子育て支援の充実 ◆子どもの医療費助成を拡充(義務教育児の負担軽減) ◆発達障害の早期発見と支援体制の確立
三、安心安全のための
防犯・防災対策を強化します
◆震災に備えた防災体制を整備 ◆青色回転灯パトロールカーを活用した巡回パトロールの強化 ◆東

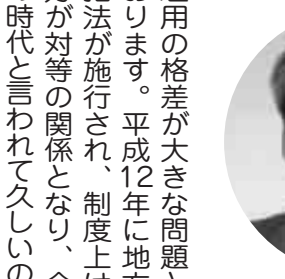
大和市駅前には交番を設置
四、教育環境の充実と
文化芸術の振興を図ります
◆安全安心の教育環境づくりと学校施設の整備 ◆学校図書館指導員、少人数学習指導員の全校配置 ◆基礎学力の向上 ◆小学校へのスクールカウンセラーの配置 ◆いじめ、不登校対策 ◆部活動の充実 ◆全小中学校での放課後子ども教室の実施
五、未来を守る環境対策を
推進します
◆リサイクルセンターの建設 ◆ごみ減量の推進 ◆狭山丘陵、多摩湖野火止用水などの自然環境を保全
六、安心・便利・快適な
まちづくりを推進します
◆ちよこバス運行ルートの拡充と増便 ◆商店街の空き店舗対策など
商工業の活性化と都市農業の振興 ◆駅周辺の駐輪場の確保 ◆公共施設のバリアフリー化 ◆男女共同参画事業の充実と拠点整備

自民クラブ

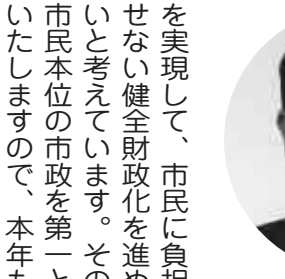
市民に分かりやすい 納得のいく市政を推進します

新春を迎え、市民の皆様には心よりお慶び申し上げます。
昨年4月の改選により、新たな顔ぶれでのスタートをさせていただきました。二年目の春を迎えることができました。
さて、昨年度におきましては、社会保険庁による年金記録のさまざまな管理体制が表面化、7月には

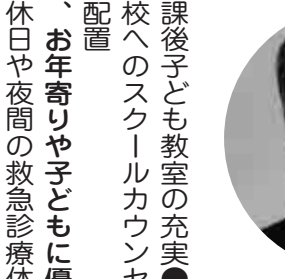
参議院議員選挙、10月には郵政事業の民営化が開始された一年でした。また、参議院議員選挙後の衆参ねじれ国会により、今後国民が早急に必要な法案が国会を通過しないなど、国民生活への影響も懸念される状況であります。
一方、規制緩和が進み、東京を初めとした都市と地方との格差、



関田 みつぐ



石川 庄太郎



関田 正

雇用の格差が大きくなるとなっております。平成12年に地方分権一括法が施行され、制度上は国と地方が対等の関係となり、今や地方の時代と言われて久しいのですが、地方公共団体はともかく、財政事情が続いているのが現状です。
東大和市におきましては、東大和市には二十番目である

の調査で、住み良い街全国ランキングで東大和市は二十番目であることが発表されていましたが、実感がないのが率直な気持ちではないでしょうか。
住み良さが本当に実感できる街となるために、今後も徹底した行政改革を推進し、行政のスリム

化を実現して、市民に負担を感じさせない健全な市政を進めていきたいと考えています。そのためには市民本位の市政を第一として推進いたしますので、本年も皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。
自民クラブは、次の施策の実現に取り組んでまいります。
一、行政運営
聖域なき補助金の見直し ◆市民との協働による市政運営の推進
二、教育環境の充実
小・中学校校舎・体育館の耐震化の早期完了 ◆小・中連携モデル校開校の早期実現 ◆桜が丘地区における学童クラブ開所 ◆放

課後子ども教室の充実 ◆全小学校へのスクールカウンセラーの配置
三、お年寄りや子どもに優しい街
休日や夜間の救急診療体制の整備 ◆母子保健制度の充実 ◆不妊治療補助金に向けての検討 ◆推進
◆適切な乳がん・子宮がん検診内容の充実
四、防犯・防災への意識の高い街
東大和市駅前交番の早期実現 ◆交通安全対策の充実 ◆消防団活動充実のための積極的支援 ◆自治会を中心とした自主防災システムの確立
五、利便性の高い街
市役所土曜日開庁のさらなる充

実 ●ちよこバス運行ルートの適切化と近隣市との連携 ●都市計画道路の整備推進 ●交通弱者への移動手段の確保
六、豊かな地域社会へ
中・小・小農業者への助成策の推進 ●都市農業の育成と市民農園の整備 ●狭山丘陵の自然を生かした観光資源の確立 ●自然保護ネットワーク設立への検討 ●児童公園の充実と遊具の整備 ●郷土美術園の開園と芸芸員の増員 ●産業振興基本条例の早期実現

新政会

市民との協働で、誠実に、着実に 暮らしに安心を

輝かしい新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。
新政会では、市民の皆様が安心・安全に生活できるまちを築くため、市民との協働で効率のよい市政を今後も引き続き推進します。
本年も、次の施策の実現に向けて誠実に、着実に最大限の努力をいたします。

や指定管理者制度の活用と支援 ●市民参加型の運営
二、教育
●校舎や体育館等の耐震化 ●防犯対策、教育ボランティア制度、教育環境の充実
三、福祉
●少子化、高齢化対策 ●高齢者の健康増進 ●児童福祉対策 ●子育て支援の充実 ●総合福祉センターの建設

四、防災・防犯
●災害に強いまちづくり ●防災施設の耐震強化 ●災害時の要援護者対策 ●児童、生徒に対する防犯対策の強化
五、商工業
●商工業の活性化 ●商店会の活性化対策 ●空き店舗対策
六、環境
●環境基本条例制定 ●子ども広場がない地域への開設 ●循環型

リサイクルシステムの確立 ●ごみ減量 ●狭山丘陵の保全 ●ペット専用公園の整備
七、都市農政
●地産地消の推進 ●地域密着農業の確立 ●生産緑地の推進と環境整備 ●体験型市民農園の整備
八、都市整備
●都市計画道路の整備促進 ●市道、歩道の管理強化 ●狭山丘陵の整備促進 ●バリアフリーを基

本とした道路整備促進 ●市内交通網の整備(ちよこバスの全地域運行・コミュニティバスの相互乗り入れ)
九、市民サービス
●市民本位のサービス充実
十、文化行政
●ハミングホール運営の充実
十一、条例の制定とITの活用
●生活安全条例の早期制定 ●電子自治体への推進



中村 庄一郎



柏谷 洋右



森田 憲二

日本共産党

新しい政治の流れをつよめ 平和で安心して暮らせる日本を

あけましておめでとうございます。
参院選での政府・与党の歴史的敗北を契機に、インド洋からの自衛隊撤退、高齢者医療制度改善や障害者自立支援法の見直しなど、昨年国民の世論と運動が大きく政治を動かしました。
東大和市では、共産党議員団を二名から三名へと大きくしたことができました。全委員会に委員を置き、「行政改革」で廃止された老人

入院見舞金を復活させ、子ども医療費無料化を拡充させました。要介護、要支援認定者の負担軽減策の前進や絶対高年齢制限導入など暮らしの問題でも、憲法パソフを二千字作成させ配布させるなど平和の問題でもがんばっています。
参院選で新しい政治を求めた国民の声に正面から応え、国民が主人公、平和な日本をめざし全力をあげます。



吉野 孝



西川 洋一



尾崎 利一

東大和市では、昨年職員定数が大幅に削減され、ごみ処理手数料値上げなど第三次「行政改革」が始まりました。市民サービス切捨てや負担増に反対し、平和と暮らしを守るために全力をあげます。
○重税許す、市民の暮らしに負担増反対
消費税等庶民増税と負担増反対
低所得者の負担軽減
○高齢者・障がい者 高齢者医療制度改善の中止・負担軽減を

障がい者の応益負担廃止と施策充実 必要な介護の提供と保険料・利用料減免制度拡充 総合福祉センター建設
○子どもと教育 中学三年生まで医療費無料化 保育・学童保育の充実と子育て支援 三十人学級の早期実現・教員増 校舎・体育館の耐震診断・工事の推進
○市内産業・雇用 若者の雇用促進 労働相談窓口の充実 非正

規模労働者の待遇改善 都市農業の振興 中小商業施策の拡充
○平和・環境 憲法第九条を守る平和事業拡大 広島市の平和式典への市民派遣 住環境を守る都営住宅の増設 警視庁の未利用地とグラウンドの市民開放 狭山丘陵の保全 ちよこ減量
本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

平成19年(2007年)を振り返る

- 第1回臨時会
 - 開催期間 2月14日
 - 市長提出案件 七件
 - 議案人事案件 十一件
- 第2回臨時会
 - 開催期間 3月2日
 - 市長提出案件 三十一件
 - 議案人事案件 十二件
 - 一般質問 十二名
- 第2回臨時会
 - 開催期間 5月22日
 - 市長提出案件 一件
 - 議案人事案件 一件
- 第2回定例会
 - 開催期間 6月12日
 - 市長提出案件 五件
 - 議案提出案件 三件
 - 一般質問 十八名
 - 緊急質問 二名
- 第3回定例会
 - 開催期間 9月4日
 - 市長提出案件 二十九件
 - 議案提出案件 五件
 - 一般質問 十八名
 - 緊急質問 一名
- 第4回定例会
 - 開催期間 12月4日
 - 市長提出案件 二十一件
 - 議案提出案件 五件
 - 一般質問 十四名

公職選挙法により、議員(立候補予定者を含む。)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀などの贈りものをする事は禁止されています。また、年賀状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことも禁止されています。
新年のごあいさつは、本紙をもってかえさせていただきます。
東大和市議会

